

「剣を振るい、
鋼鉄の足踵を鳴らし、
光もかくやという速さで
敵を屠り殺す。」



そんな風にかつて
自分が言われていたのを
思い出した

…魔術で姫の影武者に
したてあげられるまでは、だが





はあ



『私は行儀よくします』

…ほら、言ってみろ



任務には従順な男だと
聞いていたのだがな



まったく
強情な騎士様だな



礼儀の稽古がイヤか？



そんなに舞踊の稽古がイヤか？



ボクは騎士です



…何度も何度も逃げ出して



なんだこの
小鳥のさえずりのような声は



…なんだこの弱々しい声は

踊りや作法なんて、
ボクの仕事ではありません



ふっ



剣を振るうのが
自分の仕事です



そうだ：相性とその技量から
姫の影武者に選ばれたものの、
その魔法による変身は不完全だった

口だけは立派だな

姿、顔立ちは良い
ただその身長や年齢が、
彼女より数段幼いものに――

言うなら妹のような姿だ



白い胸の谷間から弾ける
甘い果実を思わせる
少女の汗の香り

それが今の自分の
身体の匂いだと信じたくなかった

むわっ



ふふ、愛いな

私にナルシズムの気は
なかったつもりだが…



もし目覚めたのなら
キサマの責任だ、騎士様



まったく淫乱な騎士様だな...♪



おいおい、抱きしめただけだろう？



~~~~~♡♡♡♡



くそっ...!!  
嫌だ...

こんな、  
こんなのおっ...♡



仕方ない  
そんなに嫌なら  
元の姿に戻る方法を  
教えてやってもいいぞ

ふあぁ...♡

ふあぁ...♡



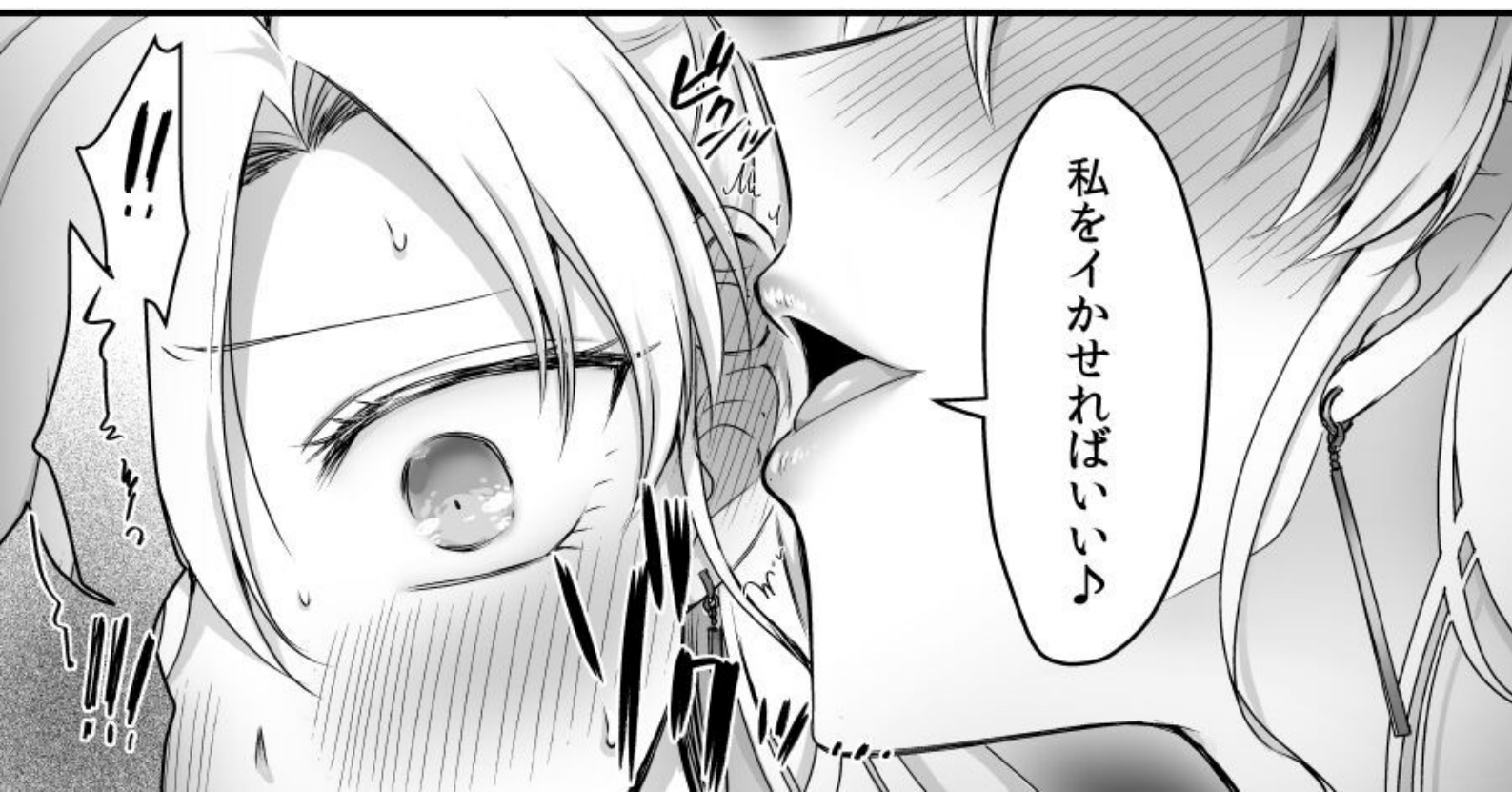
簡単な話だ

お前にかけて変性魔術は  
陰陽式魔導理論を  
逆術的に応用したもので

術師から継続的な  
マナの供給を行わなければ

……

…つまり?



私をイかせればいい♪

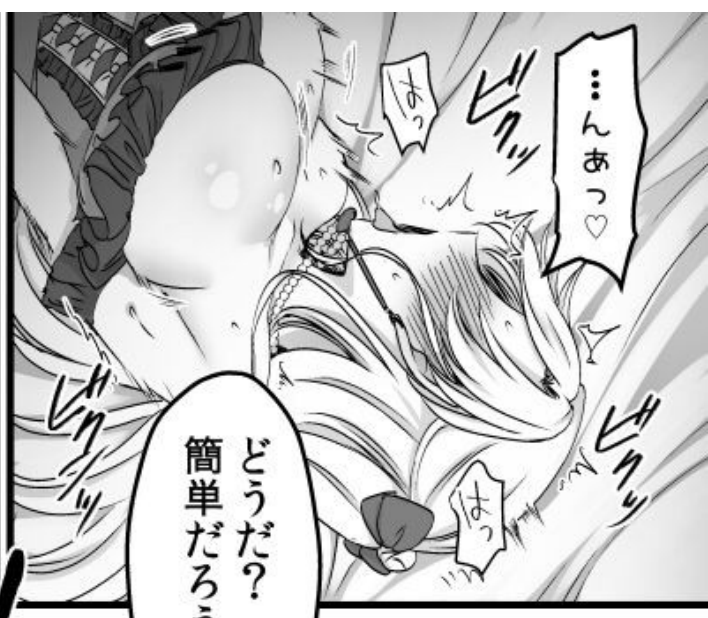
!!!



男の中の男  
女一人鳴かせるくらい  
訳もないだろう？

おんおん♡

……っ!?



…んあ♡



どうだ？  
簡単だろうか？

なんせ国の  
大英雄の騎士様だ

スルッ…



ああ、遠慮なく  
さわるといっ…♪

お姫様♡


おんおん♡

たっ♡



……いいんですね

トクーン…



無論、姫の言う通り、  
女を抱いた経験はそれなりにあるし、  
自信もある

相手が  
いくら同性好きの  
姫様であろうと

自分が彼女と同じ姿に  
変えられてしまっ  
いたとしても――

数分後

ふあああ♡  
あふああ♡

あ♡♡  
あうううん...

あうううん...

ふふいん♡♡  
んやああ♡♡

あううん♡

あううん♡

あううん♡

あううん♡

あううん♡

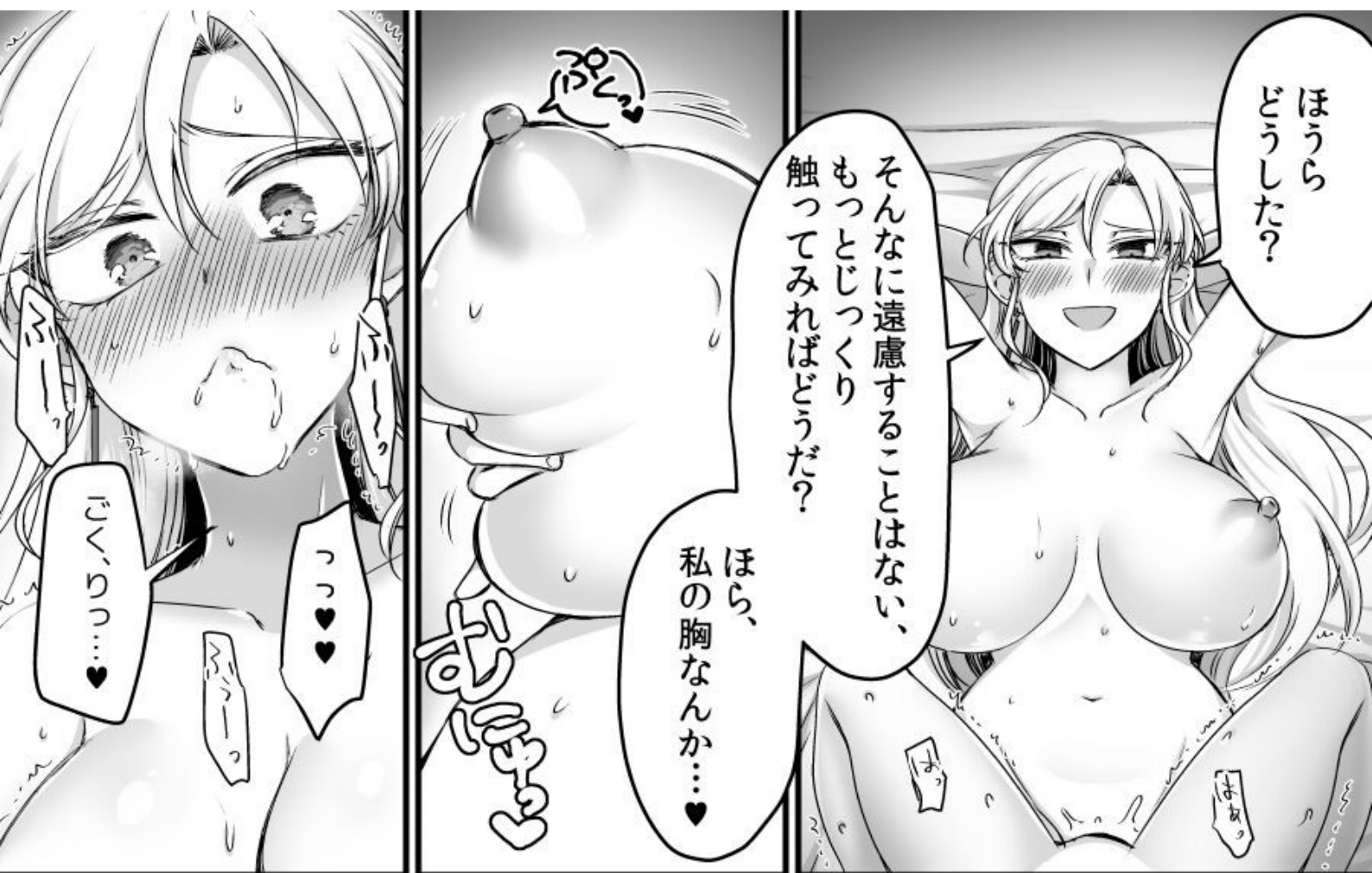
あううん♡

あううん♡

あううん♡

あううん♡





ほうら どうした？

そんなに遠慮することはない、もつとじつくり触ってみればどうだ？

ほら、私の胸なんか...♡

ぽんぽん  
ぽんぽん

じゅんじゅん...♡

っ♡♡



おおかしこっ♡

ドキドキしてしまじゅううう...♡

その要因は  
自分にかけられた  
魔法にあった

姿形だけでは影武者として  
不完全だと考えた姫によって  
こっそりと施された  
『弱体化の魔法』

それが自分の性に対する  
知識や能力までも及び

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

ぽんぽん  
ぽんぽん

その結果ウブな処女以下の知識と  
誘惑に耐性が一切ない

んはあああっ♡

あううう…♡

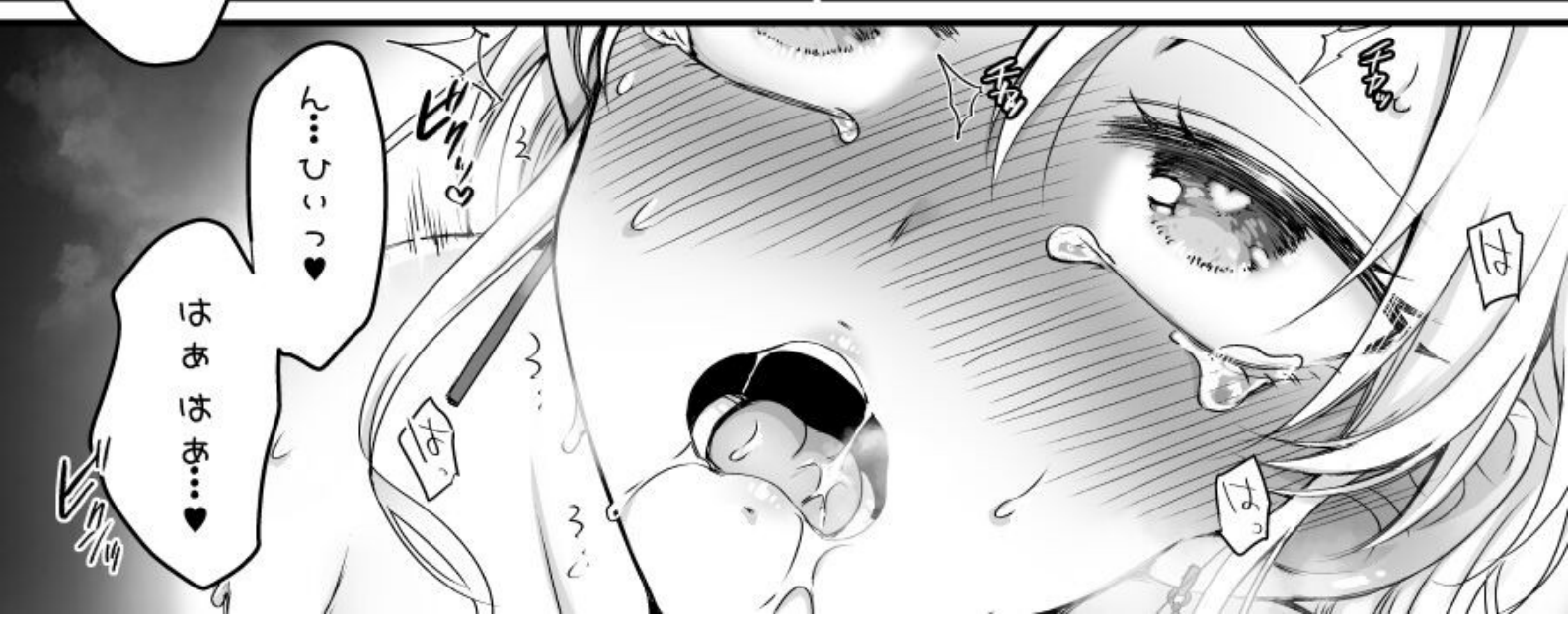
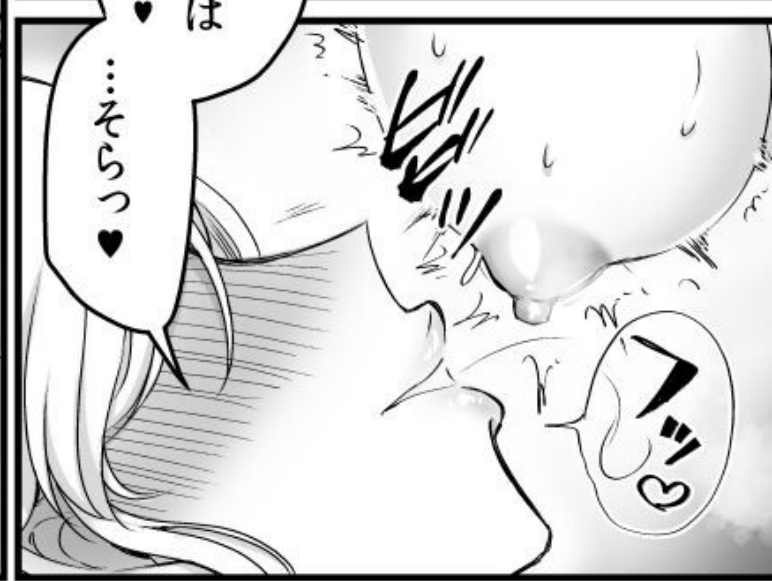
くくくっ…  
イかせればいいんだ

哀れな少女へと  
変貌してしまっていたのだ

今まで、  
だっ…だっ…

だいて、きた  
女の人、みたいに…









すっ、すっ、すっ...♡  
ひめ様のおっぱい、  
すっぐくやわらかい...♡

ち、ちがう、  
どっしりこんなと書えて...

ふーっ...♡  
ふーっ♡

ニヤ  
ニヤ  
まったく  
これではどちらが  
犯しているのかわからないな

ニヤリ...  
まったく仕方ないな  
私が直々に  
教えてやらねば  
ならないか

その身体にな♡

ふえっ...

ふにゃあああああああっ!!











お前のおっぱいでな♡

そうだ、お詫びに  
さつきからジロジロ見ていた  
わらわのおっぱいを  
堪能させてやろう…

なっ…

にやああああうんうんうん…♡

ガッ

ジュッ



あああんっ♡  
ひあああっ…♡

はははっ♡  
くすぐりたいなっ♡

ぽんぽん♡

ぽんぽん♡

ぽんぽん♡

ぽんぽん♡

ぽんぽん♡

ぽんぽん♡











たった今だけのことで  
こんなに私の手を  
ぐちよぐちよに愛液まみれにして…♡

…ふふみろ♡

ぬちまみれ…♡

あんっ…♡

お前、恥ずかしくはないのか？♡



…あ…♡

カァァ





ちゅちゅ♡♡♡  
ちゅちゅ♡♡♡

自らをにこんな屈辱を与えた相手に、  
媚びへつらった笑みを浮かべながら  
服従している



どうだ？  
そのオンナのコのカラダは  
キモチいいだろう？  
騎士様♡

んっ♡♡♡  
ひゃひゃ♡♡♡



…イけ♡



それなのに…

それがどうしめっも  
なく幸せで…♡

んっ♡♡♡  
んっ♡♡♡  
んっ♡♡♡



ボクッ

クッ

クッ

クッ

幸せでたまらない...



ああ...♡  
なんて愛らしく情けない娘だ...♡

ずっとわらわのペットとして  
可愛がってやるからな...♡

END